

4 新型コロナとインフルの同時流行に備えます

重症化リスクの高い方を守りつつ、通常医療を確保するため

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が危惧されることから、重症化リスクの高い方を守ることを前提としたうえで通常医療を確保するため、医師会や関係機関と連携して対策を講じていきます。

1 市の対策

(1) 予防と備え

- ① 市民へは、定期的にラインやメールで周知及び自治会回覧での呼びかけを行います
 - ・新型コロナウイルスと季節性インフルエンザのワクチン接種
 - ・自宅で抗原検査キットや解熱鎮痛剤等の用意
- ② 企業に対し、「がんばる企業応援団」等の訪問を通じ、罹患証明・治癒証明・検査結果等を求めないよう周知します

(2) 日曜・祝日、年末年始の外来診療体制の拡充 急患センターの患者受け入れ体制の拡充

- ① スマホによる Web 問診の導入、看護師の増員、医師の診察への専従等、受診体制の充実を図り、患者受け入れ体制を拡充
※現在看護師が対面で問診を実施していますが、患者が自身のスマートフォン等で入力できる Web 問診の導入することで、医師や看護師、他の患者への感染予防と適切な診療業務へ繋げ、受診体制の効率化を図ります
- ② 年末年始及び1月の昼間診察は、自己検査用コロナ抗原定性検査キットを活用し、事前に受診を要する患者との振り分けを実施
※来院時、中学生から64歳までの方で症状が軽症の方は、受診受付前に駐車場入り口で抗原検査キットを活用してもらうよう案内します

(3) 検査体制の整備

自己検査用コロナ抗原定性検査キットの配付

- ① 対象は、中学生以上64歳以下の有症状者又は濃厚接触者を対象として検査キットを配付します
- ② 12月1日から受付開始し、自宅等へ申込日の翌日に配送(委託)します